

(熊谷市) 記者クラブ情報

事業の名称等

スポーツ選手活用体力向上事業体操教室

1. 実施日時等 平成 22 年 6 月 22 日(火) 午前 9 時 30 分から
平成 22 年 6 月 22 日(火) 午前 11 時 30 分まで

2. 会場・主催地 熊谷市立吉岡小学校体育館

3. 主催者・関係者

(1) 団体名等 熊谷市教育委員会 熊谷市立吉岡幼稚園

(2) 代表者名 園長 猪野和幸 TEL 536-2390

4. 事業内容

文部科学省から日本体育協会が委託を受け、団体からの要望に基づき、関係競技団体等の協力を得て派遣講師の調整をし、スポーツ教室を実施するものである。

熊谷市立吉岡幼稚園 園児46名が参加予定。

内容 基本の運動、マット運動、跳び箱運動などの実技指導及び講話

5. 目的・理由 トップアスリートが講話や実演・指導等を行うことによって、

スポーツのすばらしさを子ども達に伝え、

子ども達が主体的にスポーツに親しむ態度や習慣を身につける

6. 経緯・経過

吉岡幼稚園が応募し採択された。

7. 影響・効果 トップアスリートの実技指導や講話から、スポーツのすばらしさを体得させることに

より、運動・スポーツ習慣や規則正しい生活習慣を身につけさせる。

8. この事業の実施による特記事項 アトランタオリンピックにおいて体操競技の日本代表として

日本体操界のトップで活躍をされた内山隆さんを講師として、指導をいただく。

- (1) 県内の状況

ア. 県内で初めて イ. 県内で 番目

- (2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

・他市と同じ

※資料の有無 (有)

担当課 熊谷市 教育委員会保健体育課 担当者 山田健司

連絡先 TEL 524-1111 (内線392)

文部科学省・(財)日本体育協会「子どもの体力向上啓発事業」
「スポーツ選手活用体力向上事業体操教室」の実施について

- 1 事業名 スポーツ選手活用体力向上事業体操教室
- 2 趣 旨 トップアスリートを派遣し、体を動かすことの楽しさや正しい生活習慣を身につけることの大切さ、スポーツのすばらしさなどを子どもたちに伝え、自らの豊かな経験と卓越した技術をもとに、講話や実演・指導等を行い、子どもたちが主体的にスポーツに親しむ態度や習慣を身につけさせることを目的とする。
- 3 主 催 熊谷市教育委員会
- 4 期 日 平成22年6月22日(火)
- 5 会 場 熊谷市立吉岡小学校体育館
住所：熊谷市万吉2103
- 6 種 目 体 操
- 7 講 師 内山 隆 (うちやま たかし)
昭和49年8月18日生まれ 36歳
埼玉県出身(本庄市)
本庄東中学校ー清風高校(大阪)ー日本体育大学
主な競技歴
平成8年 アトランタオリンピック(団体) 10位
NHK杯体操競技選手権大会 9位
平成9年 全日本社会人選手権(平行棒) 優勝
全日本社会人選手権(吊輪) 3位
全日本社会人選手権(個人総合) 3位
全日本選手権(平行棒) 優勝
- 8 参加者 熊谷市立吉岡幼稚園園児
園 長：猪野 和幸
園児数：4歳児29名 5歳児17名 計46名
- 9 日 程 9：30～ 教室開始(年少児)
① 開会行事
・開催趣旨の説明
・講師の紹介及びあいさつ
9：35～ ②講話
『体を動かす楽しさ』について

- 9 : 4 0 ~ ③実技指導
・ウォーミングアップ
・体のバランスを整える運動
・マット運動
・クーリングダウン
- 1 0 : 0 5 ~ ④閉会行事
・指導講評
・謝辞
- 1 0 : 1 0 教室終了
- 《 休 憩 》
- 1 0 : 2 0 ~ 教室開始（年長児）
① 開会行事
・開催趣旨の説明
・講師の紹介及びあいさつ
- 1 0 : 2 5 ~ ②講話
『体を動かす楽しさ』について
- 1 0 : 3 0 ~ ③実技指導
・ウォーミングアップ
・体のバランスを整える運動
・マット運動
・跳び箱運動
・クーリングダウン
- 1 1 : 1 0 ~ ④閉会行事
・指導講評
・謝辞
- 1 1 : 1 5 教室終了
- 1 1 : 3 0 昼食（年長のクラスに入り一緒に給食をとる）

担当：熊谷市教育委員会保健体育課 山田
電話：048-524-1111（内線392）

トップアスリート派遣指導事業報告（群馬・桐生）

場所 桐生市市民体育館

期日 平成21年11月19日（木）

対象生徒

桐生市西幼稚園園児（年少15名 年中18名 年長16名 計49名）

事業内容 講話 マット 跳び箱 鉄棒

報告

開会時間前に幼稚園の先生方により動物歩きやロープ、フープを使った運動、鬼ごっこなどが行なわれていた。そのため、園児達は体がほぐれ、スムーズにプログラムに入ることができた。

講話、マット、跳び箱、鉄棒の順に行なった。

体操遊びの楽しさや基本動作から技に繋がる要点などを実際に園児達と動きながらお話をした。幼児ということもあり、「あれできたよ」「これもできた」などの元気で気軽な声も聞こえた。

マットでの前転では腰が真直ぐ前にいかず斜めに回る子もいたが数を重ねるうちに良くなり頭と体で理解できたのか嬉しそうな表情を浮かべていた。鉄棒の逆上がりにおいては、やったことがない子にも体験してもらった。その際、諸先生方の補助の助けもあり、怖がったり、嫌がったりする子は一人もおらず楽しく取り組んでいた。

最後に写真撮影をし、一人ずつタッチをして和やかな雰囲気のもと閉会した。体を動かした後の園児達の純粹な笑顔が微笑ましく感じられた。